



少し風があって肌寒かったものの、藤原道長と紫式部の「源氏物語」の世界を肌で感じることでできた宇治散策になりました。歴史公園にある交流館では「茶づなミュージアムと大河ドラマ展」を見学しましたが、いずれも内容が濃く合計 80 分の見学時間も短く感じるほどでした。

午後からは宇治川沿いに宇治神社・宇治上神社を参拝。朝霧橋のそばのモニュメント（表題の写真）裏では神谷さん、池尾さんのスピーチと博識に皆さん感心されていました。最後に訪れた平等院では混雑で記念写真が撮れるかどうか心配でしたが、観光客のご協力もあり無事撮影することができました。歴史と文化の香りに触れることでできた宇治散策、皆さんお疲れさまでした。

【実施日】2024 年 11 月 29 日（金） 天候：晴れたり曇ったり

【参加者】59 名

【集合】京阪宇治駅前 10 時 20 分

【行程】京阪宇治駅（10：30 出発）→お茶と宇治のまち歴史公園（茶づなミュージアム・NHK 光る君へ大河ドラマ展を見学）（10：40～12：00 まで）

昼食・班長会（12：00～12：40）→宇治神社参拝（13：00～13：15）→宇治上神社（13：15～13：30） 朝霧橋・源氏物語レクチャー（13：30～13：45）→ 浮島十三重塔・喜撰橋（14：00）→平等院（14：10）→鳳凰堂前で記念写真（14：20）解散。以後各自寺院内の見どころを自由に拝観して帰路へ

■源氏物語ゆかりの古跡（1）宇治上神社・宇治神社

宇治上神社の祭神は、応神天皇・仁徳天皇・菟道稚郎子（うじのわきいらつこ）の三柱ですが、宇治十帖の八の宮（光源氏の異母弟で、大君・中君姉妹の父）はこの菟道稚郎子をモチーフにしていると言われています。また菟道稚郎子は宇治神社のご祭神でもあります。

■源氏物語ゆかりの古跡（2）平等院

藤原道長の別荘を継承した息子・頼道によって寺院に改められたのが平等院の始まりで、当時の貴族たちが希求した極楽浄土を再現したと言われています。また紫式部の父・藤原為時は頼道の叔父にあたり、彼女も幼少の頃より平等院に親近感があったと考えられています。

■一口メモ（順不同）

- ・光る君、素晴らしく良い一日でした。神谷さん、池尾さんの話最高でした。
- ・やっと紅葉に恵まれ、雅の世界を垣間見ることのできた楽しい一日でした。
- ・朝の雨で心配しましたが快晴に恵まれ遅かった紅葉もきれいで、また大河ドラマの舞台巡りは最高の企画でした。とても楽しかったです。
- ・今日から源氏物語を読もう！紫式部の偉大さをリスペクトしながら日本人の誇りを持って！
- ・宇治は京都とはまた別な趣があり、お茶と源氏物語の世界を楽しめました。
- ・お天気が心配でしたが紅葉の綺麗なところ、神谷さんの講話も分かりやすく良かったです。
- ・天気、紅葉、風景、講話すべてオッケー、快適な一日でした。